

経営比較分析表（令和4年度決算）

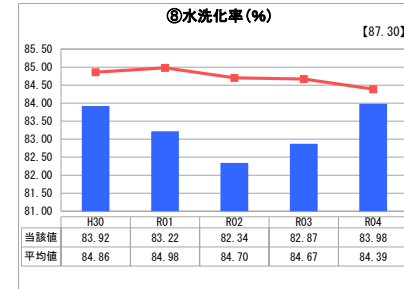
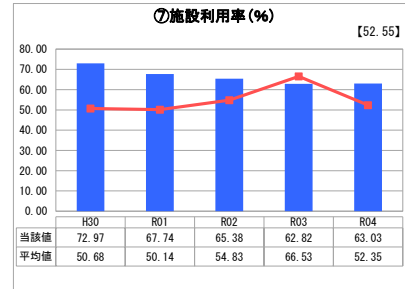
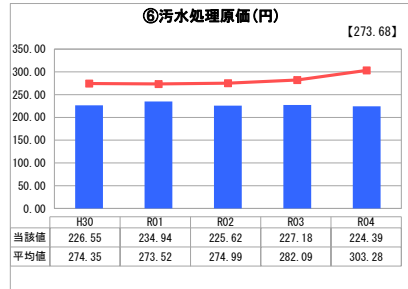
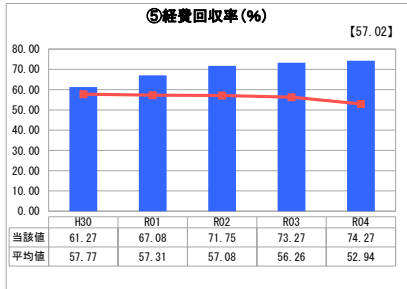
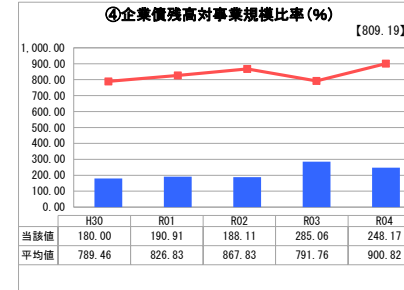
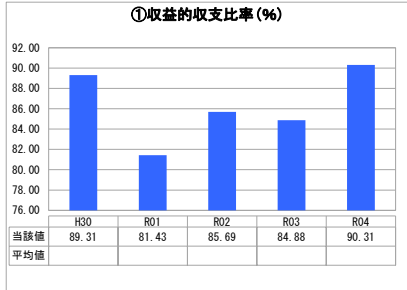
熊本県 八代市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.40	100.00	4,870

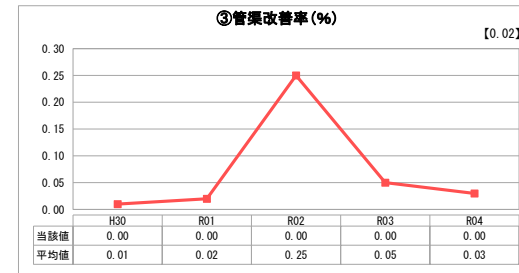
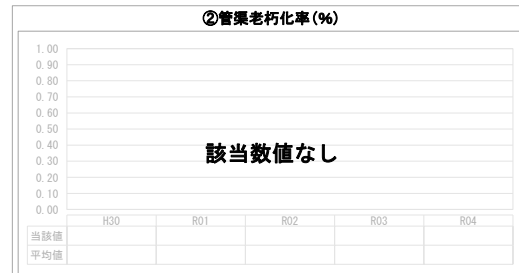
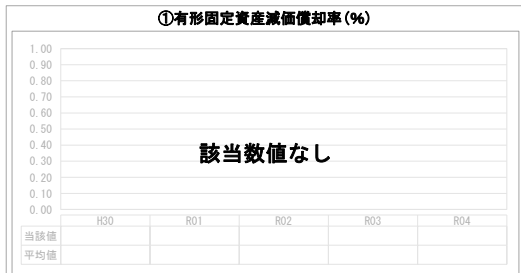
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
122,625	681.29	179.99
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,710	6.60	259.09

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率・⑤経費回収率
経費回収率に関しては、平均を上回っているものの、事業の運営に必要な費用を収益で賄えていない状況にあることから、今後も歳出の削減と収入の確保に努め、経営改善を図っていきます。

④企業債残高対事業規模比率
平均値を下回っているものの、今後も計画的に企業債の減額に努めます。

⑥汚水処理原価
平均値より低いものの、高い水準にあります。資本費（※過去の整備に要した企業債の償還額）が過大であることが高い数値の要因です。

⑦施設利用率
平均値より高いものの、今後、人口減少に伴い処理場の処理能力にも余裕が出てくると予想されます。

⑧水洗化率
近年は平均値を下回っており、あまり伸びていないのが現状です。要因として、接続済人口が減少しているためです。今後も各種媒体を用いて未接続世帯へ接続をお願いしていきます。

2. 老朽化の状況について

管渠につきましては、まだ耐用年数を経過していないため、改築・更新には着手しておりません。平成29年度実施の機能診断調査結果に基づき令和元年度に策定した最適整備構想をうけて、通常の維持管理に加え、今後は長寿命化のための改修等を計画的に行っていくことにより、市民生活の安全・安心の確保はもちろんのこと、経済的な効率性も追求し、農業集落排水処理施設事業の継続と安定的な運営を行ってまいります。

全体総括

全体的に類似団体と同じか、比較的良好な数値となっています。しかし、事業地域が山間部の農村地域であり、今後は人口減少に伴い収入減となることが予想されます。また、将来にわたる持続的な事業経営を見据え、令和3年度から令和12年度を計画期間とした経営戦略を策定しました。さらに経営健全化のため、令和5年5月請求分より6.8%の料金改定を行いました。なお、令和6年度に企業会計へ移行するため、経営戦略の改定を行う予定です。今後とも更なる歳出削減に努めるとともに、企業債残高及びその償還額が過大にならないよう計画的な改築・更新を行い、安定的な事業運営を目指して努力していきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。